

# ちびっこ チャンピオン

## 「じょうずにかけたよ」

柳田保育園のなかよしたち

(上段左から)

ふくさわ かん たくん (5さい)  
つちや ころろさん (5さい)  
みかみ ひろ とくん (5さい)  
こ ん りゅうのすけくん (5さい)

(下段左から)

かさ い か いくん (5さい)  
こぬ ま よ りくん (5さい)  
お お た しゅうすけくん (5さい)  
い そ べ ゆうしんくん (5さい)

このコーナーでは、元気いっぱいな園児達の作品をご紹介します。



深浦町の花



福寿草

深浦町の木



樺

深浦町の鳥



カモメ



このコーナーでは、お誕生日を迎えたチビッコ達をご紹介します



あおい 葵ちゃん  
(風合瀬) R1/10/25生  
「いつでも笑顔でいてね!」



かえて 花楓ちゃん  
(3区) R1/10/17生  
「いっぱい食べていっぱい遊ぼうね♡」



とき お 時生くん  
(北金2区) H29/10/29生  
「いつも笑顔でいようね♡」



ゆり 優李くん  
(3区) R1/10/19生  
「これからも元気にやんちゃに大きくなあれ! 生まれてきてくれてありがとう♡」

### 草創教育長の「今月の一枚」

#### 失敗

岩崎の森山海岸です。水彩画を始めた頃の絵ですが、完全失敗作です。ご覧ください、海の色がいかにも不自然でわざとらしい。雲も岩肌も順調に塗り進めていたのに、最後の最後に色の選択ミス。全くツメが甘い。

同じような失敗を何度もくり返し、少しは思い通りの色を作れるようになったかな...と今は思えます。

話は飛躍しますが、私の少年期はスポ根全盛です。漫画を例にとれば「巨人の星」や「あしたのジョー」。失敗や挫折のどん底から何度かは上がり、必死に前に進む主人公の生き方に、人生の高い価値を見出した世代です。血と汗と涙で汚れた、泥くさい姿こそが美しい、と少年たちには素直に思えました。

比べて今の子どもたちは、苦難は極力迂回し、失敗は必死に避けようとしています。自信喪失した自分の姿もひたすら隠そうとします。立ち止まったり戻ったり迷ったりすることなく、無難にゴールインすることがスマイルで価値あることなのでしょう。星飛雄馬も矢吹丈もダサイのです。(笑)

今の子どもは根性なし? いえ、実は一番悪いのは周りの大人たちです! 子どもが失敗を極端に嫌うの

は、大人が失敗させないからです。子どもがやること全てに大人が首を突っ込み、よってたかたって丁寧な露払いしてしまっています。あらゆる危険、あらゆる失敗を取り除くために、完璧な対策を下準備してしまうのです。学校ばかり、家庭もしかり。

試行錯誤も紆余曲折も波瀾万丈もない、ひたすら筋書き通りのサクセスストーリーしか子どもに提供しないのです。

子の為を思う大人の「善意」、でも次の格言は衝撃的です。地獄への道は「善意」で敷きつめられている。

無菌室で過保護に育った子どもは、大した挫折も経験せず、極めて逆境に弱い若者になり果てます。ささいな成功でほめられ続け、この程度の努力で認められるのかと向上心も乏しくなるでしょう。逆に失敗を指摘されると耐性がない分、極端に落ち込むか猛反発してしまうかです。

先が読めない今の時代、自分の失敗を認めずそこから学ぼうともしない若者が居場所はあるのでしょうか。

私たち大人が、「善意」を見直す時期なのかもしれません。(教育長 草創 文人)

